

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2005.06.15

参加者 高松（邑久小）西本（城東台小）倉橋（西大寺南小）
三辻（彦崎小）田辺（津島小）福井（中央小）

【日時計式デジタル腹時計】高松

白い紙の入った額縁を南側の窓に置いておくと、時間により「朝」「昼」「夕方」の文字が浮き上がって見えます。電気も



いらぬこのデジタル腹時計は兵庫教育大学の浜中さんという

人のホームページに載っていたそうです。<http://marine.sci.hyogo-u.ac.jp/~hammer/title/115.html>

これを分解してみると、スライドアニメを日時計という形でたいへんうまく利用していることが分かります。スライドアニメとは、パソコンで作成した右のような絵の上に格子模様を印刷したTPシートを重ね、左右に動かすことで表現するアニメーションのことで、右図の場合だと福井の顔と「危険」の文字が交互に現れます。日時計式デジタル腹時計はスライドアニメと格子模様を共にTPシートに印刷し、アクリル板とトレーシングペーパーでサンドイッチしたもので、光の差し込む角度の変化によりスライドと同じ効果をだしています。実にすばらしい！秀逸です。ちなみにスライドアニメを作るソフトは岐阜物理サークルのホームページからダウンロードできます。<http://www.straycats.net/html/news217.html>



【別冊宝島『頭がよくなるトリック・アイ』】高松

錯視の絵本。村瀬尚子さんというイラストレーターの方がまとめたもの。脳は幻覚を見る、脳は意味づけできないとこんがらかる、脳は見方によって解釈を変える、脳は足りないところを勝手に補って見るなどの項目がイイ。



【人体の不思議展】福井

今年の2月に東京国際フォーラムでやっていた不気味な展覧会。『プラストミック』という技術で処理された人体の標本。匂いもなく、弾力性に富み、直に触れて観察でき、常温でも半永久的に保存できる画期的な人体標本ということですが、はっきり言って気持ちの良いものではありませんでした。連日、押すな押すなの大盛況で、女子高生やアベックが来るというのだからハテナです。



【歯の衛生ポスターの追試】倉橋

例会でネタが多いと、とても得をしたような気持ちになる反面家に帰ってこの例会報告をまとめるときには「もったいないなあ」と思いながらも理科ネタを優先し、福井の勝手な判断で割愛してしまうのですが、先々週に松本先生が紹介してくれた「歯の衛生ポスターの描き方」もそんな可哀想なネタでした。しかし、同じ低学年を担当する倉橋先生にとってはタイムリーであり、改良を加えて戻ってきました。こういうのって、いいですねえ。

